

1. 学校評価(自己評価)

※ 評価の基準

4:十分達成できた 3:達成できた 2:取り組んでいるが成果が十分でない 1:取組が不十分である

学校教育に関する重点取組	評価
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <p>(1)授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する (2)特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する</p>	2.6
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>(1)道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会との かかわりづくりに努める (2)基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (3)キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する</p>	2.7
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <p>(1)食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (2)体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る</p>	2.4
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>(1)安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る (2)防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る</p>	2.8
<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>(1)教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2)地域の教育力を活用した取組を促進し、開かれた学校園づくりを図る</p>	2.4
<p>6 教育目標</p> <p>(1)教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2)教育目標の具現化と指導の充実</p>	2.4
<p>7 研究テーマ</p> <p>(1)研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2)研究テーマの具現化と指導の充実</p>	2.4

2. 学校評価(学校関係者評価)

- ※ 評価の基準
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 4:よく取り組んでおり、成果が大きい | 3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる |
| 2:取り組んでいるが成果が十分でない | 1:取組が不十分である |

学校関係者意見等	評価
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <p>・家庭学習の充実については、主体的学習の要素を含んでいるので、生徒本人に任せるだけではなく、学校としても意欲的に取り組んでもらいたい。 ・全国平均との差を縮め追い越すことで達成感が生まれる。今後も、引き続き、生徒に学習習慣をつけていってもらいたい。 ・先生方の並々なめ努力が感じられる。今後も、生徒たちが良い方向に向くように頑張ってもらいたい。 ・今後も、教職員が研修を深め、授業改善と指導力向上に努めてもらいたい。</p>	2.8
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・長欠生徒への対応等、全職員の意識付け及び認識を積極的に図っている点が評価できる。 ・生徒が問題を解決したり乗り越えられるように、生徒の自立を助けることこそが、教員の最大の役割である。そのためにも、教育相談など生徒と交わる時間を十二分に配慮してもらいたい。 ・トライやる・ウィーク等の社会に参加することが、生徒にとってよい経験となっている。 ・思春期の中学生の心に寄り添い、適切な言葉がけで、「こころの教育」をすすめる「思いやり」の気持ちを学ばせてほしい。 ・日新オールグリーン大作戦や早朝の学校周辺の清掃は、地域住民の一人としてとてもありがたい。</p>	3.1
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <p>・食育はどのように生きるかという人生観にもつながる大切なもの。感謝と喜びをもって食することは、生徒の心身の充実にもつながる。 ・学校が主体となって実施するところと、家庭の責任として行うところをはっきりさせておくことも大切である。 ・学校の役割で大切なのは、生徒に規則正しい生活習慣をつけることで、魅力的な授業、学校行事、部活動が望まれる。 ・健康が、「やる気・根気・思いやり」を育み、学習への意欲が高まる。今後の食生活等、身体作りについての取組を期待する。 ・課外クラブ活動指導者の活用で、教員の負担軽減に取り組んでもらいたい。</p>	2.8
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・安全・安心は努力なしには手にすることはできないという意識のもと、様々な取り組みを行っている点はすばらしいと思う。 ・防災マニュアルも整備され、生徒の防災意識も十分醸成されていると思うが、実際の災害時には、組織を動かす校長のリーダーシップが大切になる。 ・「南海トラフ地震」に備え、東北地震のビデオを見せるなど、命の尊さについて学ばせてはどうか。 ・AEDの使用法やアレルギー対応研修の実施で、教員の意識向上に努めていることが評価できる。</p>	3
<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・家庭や地域からの信頼が得られていると安心してしまわず、常に謙虚に取り組む姿勢をもってもらいたい。 ・小学校への出前授業や小学生への部活見学会は、効果が必ず出るものと期待している。 ・学校HP等を活用して、日新中学校の教育実践を地域や行政に発信していってもらいたい。 ・生徒が地域行事に参加したり、ボランティア清掃を行うことは、学校に対する信頼を高めるものである。今後も力を注いでほしい。 ・教職員の資質向上や、教育水準の向上をめざし、家庭・地域と連携して学校づくりに取り組んでいるのはすばらしいと思う。 ・「学校だより」を読ませてもらい、校長が生徒や保護者・地域に伝えたいことがよくわかり、大いに勉強になる。 ・「たそがれコンサート」は、地域住民で声を掛け合い参加させてもらっている。</p>	3
<p>6 教育目標</p> <p>・どのような生徒を育てるかを常に意識できる共通の目標を全職員が持って取り組んでもらいたい。 ・高い理想をめざす中に進歩があり、言葉は力として、意識をうみ、形となる。 ・教育目標を具現化する年間目標や短期目標を明確にして取り組むことが重要である。 ・「校訓」や「めざす生徒像」を意識づけし、それを持続させる努力が必要と考える。</p>	2.9
<p>7 研究テーマ</p> <p>・研究推進委員会を中心としたアクティブラーニングや少人数授業の取り組みは、今後の成果が大いに期待できる。 ・日新中学校の課題を踏まえ、的を絞って取り組んでもらいたい。 ・研究テーマを設定し、生徒が必要とする学習指導をめざしているのはとても良いことだと思う。今後、取組の成果を期待する。 ・生徒の主体的な選択で、きめ細かな学習指導を実施したこと、学習態度の育成が図れたことは評価できる。</p>	2.9